

■ 『神』の御計画

『神』が物質世界を創られた理由

5 物質を用いて神の世界と同じような素晴らしい世界を地上に顕現するために、物質世界である地球を創り、そこへ建設要員として肉体を持った人間を住ませたのです。

人間が発明したと思っている物は、神の世界で存在するものが下ろされて物質化しただけなのです。

物質を直接動かせるのは人間だけであり、その働きの中で『神』の御計画以外のこと（『神』
10 がまだ実験をしていないこと）が、人間の手によって地上で初めて行われる可能性があるのです。

このような『神』の『探求心』が切っ掛けで、物質世界は創造されたのです。

神や御霊といった肉体を持たない存在は、物質を直接動かす力は弱いので、物質を使って何かを作るといことは、人間にしか出来ないことなのです。

15

『神』が人間に望むこと

神の世界と同じような素晴らしい世界を物質で地上に建設し、その完成した世界に『神』の御心に適った『神』の子として、幸せ一杯の家庭を築く事です。

20 しかし、殆どの人間は自分が憶えていない前世の行いや、己の我によって魂や肉体を穢してしまっているのです、その穢れを清算するために、その人その人に応じた御仕組み（プログラム）を与えることによって、肉体の有る全ての人間が幸せになるように導いて下さっているのです。

25 ★ 地上で神界と同じ文明の住人になるには、神の魂を持った人間の場合は、肉体を持っていても魂は神格に昇華していることが条件です。

※ 人間の魂については《5 3P》にて解説

30

人間の探求心・研究心は、『神』の予想を上回る可能性を秘めているのです。『神』は、人間の探求心・研究心を通して、『神』ご自身も勉強をして、成長していらっしゃるのです。

35 『神』の強い願い

『神』の御心に適った『神』の子として、幸せ一杯の家庭を築く事は、御神霊にも人間にも共通する役目です。

『神』は、御神霊全員が幸せ一杯になるようにと強く願っていらっしゃるのです。

40 そして、肉体の有る人間全員が幸せ一杯になるようにと強く願っていらっしゃるのです。そのための方法が示されているのが、『真理＝神理』の教えなのです。

この『神』の御心を成就するための御用として、『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために、また、世救い人救いの御用に沢山にお使い戴きましょう。